



小1プロブレムや残雪への対応について教育委員会に問う

小林洋子議員(フォーラム小平)

小1プロブレム解消に向けた取り組みについて
小・中学校における残雪への対応について

質問 ①小学校教員は幼稚園・保育園・認定こども園などの交流、情報交換を行っているか。
②小1プロブレム解消のため現在行っている対策と課題は。
③地域や保護者に除雪などを依頼した学校はあったか。
教育長 ①連絡会の開催等により交流や情報交換等行っている。
②就学前にこげら就学支援シートを配付し、配慮が必要なことを記入してもらうなどしている。課題は保護者への理解・啓発の促進である。支援が必要な子どもについてより多くの情報が学校に引き継がれるよう取り組むことなどが必要と考える。

積雪時の対応と除雪作業

吉本ゆうすけ議員(フォーラム小平)

再び積雪時の対応と除雪作業について

質問 ①30年1月の降雪で市民からの連絡で個別対応した件数は。またどのように対応したか。
②戸建て住宅に面していない道路の除雪状況の把握は。また、除雪されていない場所の対応は。
③市は除雪作業の一部を民間へ業務委託しているが、今回はどの範囲で依頼し、依頼分は全て引き受けてもらえたか。現在業務委託している事業者の数と確保できる人員は。
市長 ①道路の除雪及び凍結路面の排除に関する要望が44件、道路脇に積み上げられた雪の通行障害解消に対する要望が1件、集水ますの詰まりによる道路冠水対応に関する要望が1件あり、職員が現地確認し、必要に応じ雪かき等を行った。
②主要道路とその近隣の道路の状況を把握している。寄せられた情報を精査し優先順位を定め順次除雪作業を行っている。
③花小金井駅南口及び北口の駅前広場で、歩道部分の通路を確保するための除雪作業を依頼し引き受けてもらった。業務委託は降雪量等に応じ要否を決定しており、特定の事業者を定めしているものではない。作業に要する人員数も対応可能な事業者と調整の上決定している。

▼市内の雪かきの様子



中学校標準服の価格の公開/学童クラブのあり方/保育行政

竹井ようこ議員(フォーラム小平)

中学校標準服の価格の公開について

質問 ①各中学校の標準服はどのように決定されているのか。
②標準服の価格が最も高い学校と安い学校の価格差は。
③標準服の価格をホームページで公開すれば入学や転入の前準備できるがどう考えるか。
教育長 ①保護者や地域の人等の意見を踏まえ校長が決定する。
②男子で1万7千6百円。女子で1万3千8百16円である。
③入学時に必要な費用を事前に知らせることは大切と考える。
この公開は学校と調整し検討する。これからの学童クラブのあり方について
質問 ①定員を21人以上超過している学童クラブは。
②学童クラブのニーズへの見解と充足させるための考え方は。
市長 ①6クラブ。うち1クラブは2年以上継続して超過。
②登録児童数は増加傾向だが、各クラブは年度ごと増減の幅があり予測が難しい。超過人数を注視し待機児童を出さないことを最優先に施設整備等に努める。
【掲載分以外の質問項目】
働きたい人を最大限に応援する保育行政を



精神障がい者の地域生活を支援/子どもたちを豊かに育て

平野ひろみ議員(生活者ネットワーク)

精神障がい者の地域生活を支援するために
精神障がい者アウトリーチ支援事業の体制等を検討していく。

質問 ①小・中学校で心の病や精神疾患についての学びの時間と教員研修はあるか。
②本人の意向に寄り添う医療と生活支援の両立を目指すアウトリーチ支援体制の構築に向けて、どう進めるか。
教育長 ①小学5年生の体育の保健領域で年間4時間程度、中学1年生の保健体育で心の発達と心の健康の学びがある。教員研修は平成25年度から毎年7月にメンタルヘルス研修、8月に教育相談の手法に関する研修を実施している。



小平駅北口地区再開発と周辺のまちづくり/まちづくり協議会

佐藤 充議員(日本共産党小平市議団)

小平駅北口地区再開発事業と周辺のまちづくりについて

質問 ①準備組合の組織状況は約61%とのことだがどう評価しているか。また未加入の理由は。
②再開発について周辺住民等からはどのような意見があるか。
市長 ①設立当初の約78%に比べて低く、今後も未加入者への丁寧な説明が必要と考える。未加入の理由は現状からの変化等に対する不安、都市計画道路のみの早期整備を望むなどがある。
②駅前周辺の解消や商業施設の導入、駅前の活性化等、期待する意見をもらっている一方、再開発事業に不安を持つ人がいることも認識している。



自衛隊機の墜落事故/小川駅再開発(仮称)公契約条例

細谷 正議員(日本共産党小平市議団)

自衛隊機等の墜落事故を受け市民を守る取り組みについて
小川駅西口地区まちづくりの状況について

質問 小平市と周辺市の上空または低空を飛行する自衛隊機がどの程度飛行しているかを把握しているか。また、他市との情報共有は行っているか。
市長 日々の詳細な飛行状況は把握していない。12市及び陸上自衛隊等の防災機関による立川飛行場環境対策会議において、おおむねの離着陸回数報告を受けている。なお、佐賀県神埼市の事故を受け立川飛行場周辺自治体連絡会は、2月16日付けで陸上自衛隊等に対し事故防止にかかる口頭要請を行っている。

用語の解説

※1 2025年問題とは 日本が2025年頃に本格的に直面する超高齢社会の問題。戦後のいわゆるベビーブームに生まれた世代が後期高齢者の年齢に達する年であるとされている。
※2 スクラップアンドビルドとは 組織の新設や新規事業の執行に当たって、同等の組織や事業の廃止を条件とすることで費用等の膨張を抑制する手法のこと。
※3 マイナスシリングとは 予算の概算要求に当たって、前年度より一定率を減じたものを要求限度とすること。
※4 アウトリーチ支援とは 医師や福祉関係者が、保健所等と連携して訪問による積極的な支援を行い、精神障害者等の地域生活の安定化を目指すこと。

市議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会は定員の範囲内でどなたでも傍聴できます。希望される方は市役所7階の議会事務局にお越しください。会議当日の午前8時30分から受け付けをしています。本会議は3月、6月、9月、12月の年4回開催しており、開会時刻は原則として午前9時です。本会議の日程等詳しいことは議会事務局までお問い合わせいただくか、市議会のホームページをご覧ください。